

第 42 回可視化情報シンポジウム原稿テンプレート (和題:ゴシック 16pt,1 行 27 文字以内)*

—和文副題:ゴシック 14pt—

可視化 太郎[○](可視化情報大学), 情報 花子(可視化情報(株))

An Example of the Manuscript for the Visualization Symposium Japan (Times New Roman 16pt)

—Subtitle (Times New Roman 14pt)—

Taro KASHIKA and Hanako JOHO

ABSTRACT

This template is a guide to prepare manuscript for Visualization Symposium Japan. Here, please write the abstract serving as an index and as a summary of the present paper. It should be as long as approximately 150 words. *****

***** 《 150 語程度の英文 ABSTRACT 及び Keywords を記入下さい。文字の大きさは 10pt, 字体は Century, 行間は 1 行分 (シングルスペース) です。》

Keywords: Visualization, Digital image processing, **<5 語以下>**, *****

1. 序 論

本原稿は, 可視化情報シンポジウムの原稿テンプレートです。原稿執筆にはこのテンプレートをご使用下さい。原稿サイズは A4 版とし, ページ数は 2, 4, 6 ページ (偶数ページ) とする。ページ余白は, 上 25mm, 左 20mm, 右 20mm, 下 20mm とし, ヘッダーおよびフッターは入れず, 表題は 3 行目から始めて下さい。

2. 文字及び改行

2.1 文字の大きさと改行

使用言語は日本語または英語とします。和文原稿の場合, 題目, 著者名, 所属を和文で書き, 続けて題目, 著者名の英文名を記入して下さい。英文原稿の場合, 題目, 著者名の英文名を記入して下さい。なお, 和題・英題は講演申込時と同じにして下さい。

著者名は 11pt, 1 行に 36 字以内で右寄せとし, これを越える場合は改行して下さい。本文は 9pt の 2 段組みとし, 片側 25 字×50 行, 段間は 10mm を基準として下さい。章間の行間は 2 行分 (ダブルスペース) とし, その中央に章名を 10pt で記し, 節間は行を空けないようにして下さい。

2.2 字 体

題名, 章名, 節名はゴシック体, 本文は明朝体, 英文題名, 著者名は Times New Roman, 本文中の英文は Century とします。参考文献¹⁾ は 8pt で表記下さい。

3. 図 表

本文中の図表の表記には, 下記 Fig.1 と Table 1 のよ

うに, 図表には通し番号をふり, 図表番号はゴシック体, 図表題は Century で書きます。キャプションは表の場合は上部に, 図の場合は下部に記し, 説明文は英文で表記して下さい。

3. 原稿提出

本テンプレートで作成した講演原稿 (PDF 形式) と, 調査票 (PDF 形式, 必ず押印したものをお願いします) をシンポジウム HP の案内に従って提出して下さい。

Table 1 Sample of table



Fig. 1 Sample of figure arrangement

参 考 文 献

- 1) 可視化太郎, 情報花子: 可視化情報学会における論文の書き方, 可視化情報, Vol.100, No.1000 (1998) pp.11-12.
- 2) Kashika, T., Hanako, J.: An Example of the Manuscript for VSJ Journal, VSJ Journal, Vol.10, No.5 (1999) pp.10-15.
- 3) Kashika, T.: Visualization Technique, VSJ Press, Tokyo (1997) pp.1111-1125.